

家畜衛生だより

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地

Tel 023-686-4410/Fax 023-686-5715

令和元年11月発行

愛知県で CSF(豚コレラ)確認！ 【国内 50 例目】

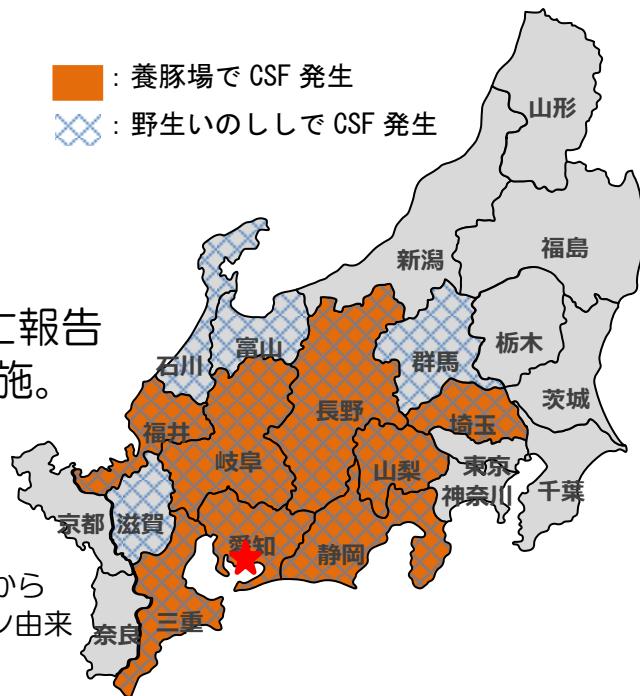
11月19日(火)、8月31日以降発生がみられなかった愛知県で、CSFの患畜が確認されました。

1. 發生農場 愛知県西尾市
2. 飼養状況 1, 035頭
3. 経緯

- (1) 11月18日、農場から飼育豚の死亡報告を受け、家畜防疫員が立入検査を実施。

(2) 専門研究機関での精密検査の結果、CSFの患畜と判明。

※当該農場は11月6日にワクチン接種すみであったことから陽性反応がワクチン由来か検査した。その結果、ワクチン由来でないことが分かり、CSF確定となった。



農場を守るために、改めてご確認ください！

- ★日頃から豚の様子をしっかり観察し、CSFの特定症状(裏面参照)を発見した場合は、早期に通報。



- ★ 豚舎ごとに長靴の交換。

特に、分娩舎は出入り頻度が高いため、ウイルス侵入のリスクが高くなりますので**専用長靴**に履き替え、掃除・消毒・手洗い等を徹底。

- ★ ウィルスを持ち込む可能性のある**ネズミ**の駆除。

- ★ 野生動物の侵入防止対策に努め、農場以外の人、車両との接触の可能性が高い場所(例えば出荷台など)の消毒徹底。

CSF・ASFの侵入防止対策を徹底しましょう！

2018年9月、日本において26年振りにCSFが発生しました。近隣国では、CSF及びASFの発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いている。

衛生管理を徹底しましょう！



関係者以外の農場への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理

CSF

2018年9月、11月、12月、2019年1月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うすくまり、便秘に继ぐ下痢、呼吸障害等

異状を見たら直ちに通報しましょう！



紫斑の象徴



元気がない



結膜炎

重症例は後肢麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

ASF

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、

急性では発熱が見られます。

異状を見たら直ちに通報しましょう！



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亞急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42°C)、皮下出血、脾臍の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業生産技術総合研究機構動物衛生研究部門

詳細情報はこちら（農林水産省HP）

CSFについて：



ASFについて：



CSFを疑うような症状を見つけた時は、中央家保まで連絡を！

中央家畜保健衛生所 023-686-4410（休日・夜間共通）